

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200841
法人名	株式会社アクタガワ
事業所名	アクタガワ ハートフルホーム有東坂
所在地	静岡県静岡市清水区有東坂一丁目224-45
自己評価作成日	令和 5年 12月 29日
評価結果市町村受理日	令和6年4月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2294200841-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階
訪問調査日	令和 5年 12月 29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は1階が小規模多機能型居宅介護、2階がグループホーム1ユニットの併設施設となっております。近くに公園もある為、お客様と職員で散歩に行くことができ、機能訓練を図りながら気分転換にも繋げる事が出来ます。2階のグループホームでは自宅に住んでいた時のような温かい雰囲気の中でお客様に過ごして頂けるよう努めております。一緒に居室・フロアの掃除や洗濯物干し等を行っており、それぞれのお客様が事業所内で役割を持つ事で、ご自身の存在感を実感して頂いております。また、事業所内だけでなく、外食・外出の機会を設ける事で閉塞感の打破を目指しております。地域の催し物にも参加し社会との関わりも大切にしなが地域密着型を目指し取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

併設する小規模多機能事業所と共に行事や運営推進会議を行い、職員全員で連携を図りながら利用者の生活を支援している。法人は、地域ブロック毎にブロック長の巡回やホーム長会議を毎月行って情報共有を図り、法人理念に基づく事業所運営の支援体制を整えている。職員が携帯する「困ったときのお助け本」や法人の「メディパス研修」により、理念の共有と職員個々の能力に応じた資質向上に努めている。管理者・職員が定めた目標について、チーム会議で取り組み状況を評価しながら、目標達成に取り組んでいる。コロナ禍制限緩和を受け、地域行事への参加、家族との外出・外泊など、地域・家族との交流機会を増やしている。季節に合わせた置物や飾りを備えて、家庭での雰囲気大切にしながら、安全で清潔な環境作りを心掛けると共に、利用者個々の能力や希望に応じた暮らしの支援に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	チーム会議にて職員で理念を唱和することで職員への浸透を図り、会議時にチーム間で確認を行っています。	併設する小規模多機能事業所と共に行事や全体会議を行い、職員全員で情報共有を図っている。管理者・職員は、事業所や個人の目標を設定し、毎月チーム会議にて取り組み状況を評価しながら、目標達成に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で行われているお祭りや催し物に足を運ばせて頂いています。地域の行事予定については、運営推進会議を通して教えて頂き、参加しています。	コロナ禍制限緩和を受け、どんど焼きや出初式などの地域行事へ参加している。敬老会での保育園園児との交流や歩行訓練を兼ねた散歩時の挨拶など、地域住民との交流を続けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々をお招きしております。その際、介護に関する相談等を受け付けています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	偶数月の第4金曜日に定期開催しております。その際様々なアドバイスを頂き、活用できるよう取り組んでおります。	コロナ制限緩和を受け、2か月に1回対面開催している。併設する小規模多機能事業所と共に行い、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、利用者家族との情報共有と意見交換を図り、事業所運営に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括の方に運営推進会議に参加して頂き、その場を通じて事業所の取り組みについて伝えさせて頂いております。	運営推進会議開催時には、毎回、地域包括支援センター職員からの意見の聴き取りを図り、情報交換と協力関係の継続に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないよう職員には会議時に周知・徹底しております。居室の施錠についてはお客様の判断に委ねております。	指針・マニュアルを整備し、「身体拘束適正化委員会」を3か月に1回チーム会議後に開催し、職員全員で事業所での状況を把握している。職員は、法人研修「メディパス研修」による年2回の研修を受け、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	虐待防止に関する指針の策定と研修の実施について、24年度から義務付けられることから、身体拘束適正化に関する委員会・研修と虐待防止の委員会・研修は、区別して実施する仕組み作りを期待します。

静岡県(ハートフルホーム有東坂)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者対応マニュアルの作成や虐待自己チェックの実施を3か月に1度行う事により、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通して成年後見制度について学んでおります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約時には重要事項説明書等の必要書類を用いてご説明・ご質問の時間を設けさせて頂いております。その後、御理解・ご了承を頂き、書名・捺印をお願いしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	偶数月の運営推進会議や、お客様アンケートにてご意見を頂き、検討・反映に努めております。	運営推進会議開催通知や「お客様アンケート」などを活用して、都度、家族からの意見の聴き取りに努めている。管理者は、写真を添えた「有東坂通信」を送付して暮らしぶりを伝えるとともに、電話連絡にて都度家族との意見交換を図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	チーム会議時や毎日の業務の中で職員の意見・考えを確認しております。また、個別面談も行い意見を反映させています。	申し送り・チーム会議等により、管理者・職員は情報共有と意見交換を図っている。法人は、「目標管理シート」を基に年2回の個人面談やキャリアパスに基づく研修を行い、職員の役割や資格による自己目標管理や意見の聴き取りに注力している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度毎に目標管理シートを作成、半年毎に面談を行い個別に評価を行っています。また、目標設定をし、職員が向上心を持ってやりがいを感じながら働ける環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修プログラムに基づき、ステップ研修に取り組んでいます。また、社外研修やマナー研修にも積極的に参加し、培った経験を会議時などに参加できなかった職員に教え、情報共有を図っております。		

静岡県(ハートフルホーム有東坂)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修に参加した際や事業所連絡会に参加し交流が図れています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス導入前に事前に聞き取り調査・お試し利用をして頂き、お客様にご満足して頂けるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前にご家族とお話しさせて頂き、悩み・要望・相談について伺っております。 また、お客様の事業所での様子等についての情報共有を図っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事業所にて提供できるサービス内容をしっかりと説明することで、お客様・ご家族の方の使いたいサービスを把握し情報を提供しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様が行える家事などを行って頂き、役割を持って過ごして頂いております。 また、お客様同士が交流できるようなレクリエーションを考え提供しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様の日々の様子や生活歴などを話し合っ共有しております。 また、お客様の普段の写真などを用いてご家族とおお客様がお話できるよう取り組んでおります。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	主にご家族と連絡を取り合い、一緒に外出する機会を設けております。 また、お客様の好きな物、場所を把握し職員と外出する計画も練っております。	コロナ禍の中でも、感染対策及び感染状況をみながら、関係継続のための支援を続けてきた。制限緩和を受けて、利用者・家族個々の意向に合わせて、家族との外出・外泊、地域行事の参加やレク外出等、工夫して関係継続を支援している。	

静岡県(ハートフルホーム有東坂)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや家事などを通して、お客様同士に会話等の交流が図れるよう努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	培った関係性を無駄にせず、相談事等ある際は親身になって対応させて頂いております、		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様一人ひとりと積極的コミュニケーションを取ることを大切にし、お話を傾聴し支援に努めております。	入居面談時に家族が記入する「興味関心チェックシート」で得た情報は、職員全員で確認している。併設する小規模多機能事業所や病院と連携して情報を収集し、チーム会議で情報共有を図りながら、利用者・家族の意向に沿った支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの聞き取りや個々の生活歴情報からサービスに繋げていける様努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別対応表や、介護記録入力、申し送りノートを活用し、現状把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月チーム会議を行い、カンファレンスの中で意見やアイデアを出しあい、介護計画に反映出来るよう努めております。	「施設サービス計画実施チェック表」を活用し、常に職員全員が介護計画の支援内容を確認できる仕組みを整えている。チーム会議でのカンファレンスにて情報共有と意見交換を図り、チームケアを意識した介護計画作成と支援に取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を用い職員間で話し合い・情報共有をしながら実践、介護計画の見直しに活かしています。		

静岡県(ハートフルホーム有東坂)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助・訪問理美容の手配・イベントの参加取り組みをしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出時に地域の方々と挨拶をし、また地域行事の参加を通じ支援を行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	随時、主治医と連携を取っています。また、ご家族様の移行に合わせ状況に応じた通院介助も行っています。	月2回協力医の訪問診療と看護師の週1回の訪問により、利用者の体調を管理している。協力医は、24時間対応で連絡・相談することができる。通院が必要な場合には、家族と連携しながら職員が支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の中の様子や変化などの情報を訪問看護師に伝え、共有できています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関の相談員の方と情報交換を行っています。その後の対応方法については主治医と相談し決めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様と終末期のあり方について事前にご話し合い、主治医・事業所・家族間で連携を図り支援に取り組んでいます。	「指針・マニュアル」を整備して、入居時に事業所の対応を利用者・家族へ説明し同意を得ている。状態変化時には、協力医とともに説明して家族の意向を再度確認し同意を得ている。職員は定期的に研修を受け、適切な支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	異常時・緊急時対応マニュアルを有し、チーム内研修を通して対応確認をしています。		

静岡県(ハートフルホーム有東坂)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を定期的に行っています。また、災害時には地域の方々に協力して頂けるようお願いさせて頂いています。	年2回テーマを決め、併設する小規模多機能事業所とともに避難訓練を実施している。運営推進会議では、訓練報告とともに家族や地域住民との協力を要請している。備蓄品は法人と連携して、発電機のほか、水・食料を保管管理している。	訓練実施で得た課題は、次回訓練へ継続して改善されることが重要なことから、課題を整理した訓練記録の整備を期待します。災害時業務継続計画(BCP)において、地域住民と連携した防災訓練の実施を期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	チーム内研修時に接遇の実施や外部講師によるマナー研修に参加しています。	個人情報保護や写真掲載について、入居時に利用者・家族に同意を得ている。法人研修計画に則り、定期的にスキルアップ研修を実施している。職員間での確認し合うとともに、課題が散見された際には、管理者は都度注意を促している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が希望を話せるように、職員がお話を傾聴することで、お客様の希望に沿った支援を行えるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のご希望に合わせて、散歩や小規模のレクリエーションに参加して頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	私物の衣類を使用して頂いております。また、着るものに関してはご本人に選んで頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様と料理をし、食事・片づけを行っています。	業者から取り寄せる食材を利用し、昼夜の食事は、職員手作りの食事を提供している。職員は、利用者個々の能力に応じて食事の準備や片付けを共に行っている。利用者の好みに合わせて、そば打ち等の食事レクリエーションを行い、楽しく食事する工夫を心掛けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の身体状況に合わせ、食事量や水分量が確保できるように支援させて頂いております。		

静岡県(ハートフルホーム有東坂)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行う事で、口腔内の清潔を保つことが図れています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時、または排泄状況に合わせ、トイレ誘導を行い出来る限りトイレ内で排泄して頂けるよう努めています。	排泄チェック表を活用して、利用者個々の排泄パターンを把握しながら、利用者の能力に応じた支援を心掛けている。安全を配慮して夜間おむつ利用者でも、日中は生活リハビリも兼ねて、トイレ利用を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取して頂けるよう働きかけ、また体操などによって適度に運動して頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	声かけ、ご本人の希望に合わせて対応させて頂いております。	週3回入浴を目的に、利用者の体調や希望に合わせて、午前・午後、柔軟な対応を心掛けている。利用者の状態・希望に合わせてシャワー浴や入浴剤の利用など、利用者が安心して楽しく入浴できるよう工夫した支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の生活歴に合わせ居室空間・寝具に対応するよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェック表や内服薬の説明書を用いて、服薬時の薬の理解・支援を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに施設内での役割を持って過ごして頂いております。また、声掛けをしてお客様の希望に合わせて散歩や、レクリエーションに参加して頂いております。		

静岡県(ハートフルホーム有東坂)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員によるドライブや散歩、ご家族と連携しお客様の希望に沿えるような外出の機会を持つ事が出来るよう支援しております。	コロナ禍の中でも、感染状況・対策に配慮しながら近隣の散歩や畑での水やり、職員によるドライブなど、利用者個々の状態に合わせた支援を続けてきた。制限緩和を受けて、家族との外出・外泊など、積極的な支援を心掛けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本は事務所でお預かりしている。外出時の買い物はお預かりした金額の中で、買い物ができるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様より了解が得られた際には対応させて頂いております。また、お客様からご家族様と連絡が取りたいという希望があった際は職員が取り次いでいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様にとって馴染みやすく、親しみやすい居住空間作りを心がけております。	法人は、各事業所に季節に合わせた置物や飾りを備えて、家庭での雰囲気大切に季節に配慮した環境作りを心掛けている。共有空間は温湿度管理に留意すると共に、感染症対策マニュアルに基づく定期的な換気と朝・夕の清掃・消毒を実施している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合うお客様同士で会話出来るように職員の方で席順等を考えさせて頂き、対応しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内にはご本人の使い慣れた馴染みのある物を配置し、落ち着いて暮らせるように心掛けています。	居室は、大きなクローゼットが備えられ、動線に配慮して整理整頓されている。使い慣れた家具を持ち込み、利用者好みの居心地の良い居室作りを心掛けている。衣替え等は、家族と連携しながら支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂等の場所には色のついた印を付けて、お客様に分かりやすくし対応しております。		